

まちなか振興支援室 活動レポート No.2 (2014.12.19)

まちなかメディアラボ (まちらボ) プレオープン!



稚内北星学園大学 まちなか振興支援室

はじめに

稚内北星学園大学の「地(知)の拠点(COC)」事業のうち、中心市街地活性化に関する取り組みの拠点施設となる「まちなかメディアラボ(愛称:まちらボ)」が、このほどプレオープンすることとなった。

まちらボとは

まちらボは、本学サテライトのひとつであり、①中心市街地における学生たちの活動拠点、②中心市街地に関する情報の受信・蓄積・発信の基地、③市民が集い、交流し、学びあう場、という3つの機能を備えた施設である。

場所は稚内市中央3丁目、中央商店街(アーケード街)のなかにある。メディア表現指導員が常駐し、学生の“まちなか”活動を支援するとともに、市民のメディア表現相談(画像・動画の加工・編集、チラシ・ポスターの作成など)を行うほか、本学の授業や市民講座、ギャラリーを開催することなどを予定している。

2014年度中に施設整備を行い、2015年4月より正式オープンする。日常的には大学案内や本学学生・教員の作品展示を行っており、簡易な休憩・ミーティングスペースとしても活用できる。下記の看板を見かけたら、ぜひ気軽に立ち寄りいただきたい。

プレオープン・イベント



2014年12月20日～21日に、稚内中央商店街振興組合「学べる!健康商店街」とSOYA PARTYと連携させていただき、“まちらボ”プレオープン・イベントを開催する。

「想いをカタチに 地域の未来を創ろう」をコンセプトに、地域の未来を担う学生たちの作品(写真、映像、ゲームなど)や活動記録(学校・学習支援、地域活動など)の展示をメイン企画としている。また、特別企画として小谷准教授によるクリスマス・オーナメント制作講座、安東講師によるパズル講座や、大学図書館の細田司書による読み聞かせを予定している。さらに、中央商店街、SOYA PARTYとの連携企画としてスタンプラリーも実施する。

子どもからお年寄りまで、市民の皆様を楽しみながら“まちらボ”や本学COC事業について知っていただく機会にしたいと願っている。

まちらボ
稚内北星学園大学

